

津軽からの再生

生きつづける近代建築とまちづくり



弘前は、城下町として江戸後期の建築や明治以降、堀江佐吉や桜庭駒五郎などの棟梁による擬洋風建築・折衷建築、前川建築など沢山の歴史的建築物があり、それを保存活用している数少ない日本の地方都市であります。さらに、現在は、積極的に前川國男のモダニズム建築の保存再生生活活に取り組み、また田根剛さん等が古い酒蔵のレンガ倉庫を芸術施設へリノベーションするプロジェクトなど、新たなまちづくりが進められています。

この弘前をキーワードとし、歴史的建造物の保存の意義、必要性、再生・利活用、リノベーションまちづくり、世界遺産など、グローバルな視点と、日本における視点、さらに地方における視点について2名の基調講演者と5名のパネルディスカッションを通し、地方都市から新たなまちづくりの可能性を発信するシンポジウムとしたいと考えます。

KEYNOTE SPEECH

14:35 - 15:35 [基調講演Ⅰ]

Archaeology of the Future | 田根 剛 氏

2006年から独立し「エストニア国立博物館」J Todoroki House in Valley」などの代表作と共に、考古学者のように時間を過去に向かって遡り、人類学者のように文明を考察し、多くの時代のなかで忘れ去ってしまったもの、または近代化やグローバル化によって今日の世界から消えてしまったものを掘り起こし、未来に向けて建築をつくる思考の過程を紹介します。そして記憶とは過去のものではなく、記憶は未来をつくる原動力だと考える「Archaeology of the Future (未来の記憶)」によって建築の未来を語りかけます。

田根 剛 Tsuyoshi TANE

建築家。1979年東京生まれ。Atelier Tsuyoshi Tane Architectsを設立、フランス・パリを拠点に活動。2012年よりロシア大学 GSAIP で教授をとする。現在ヨーロッパと日本を中心に世界各地で多数のプロジェクトが進行している。主な作品に「エストニア国立博物館 (2016年)」、「新国立競技場・古墳スタジアム (案) (2012)」、「LIGHT IS TIME (2014年)」、「Todoroki House in Valley (2018年)」(仮称 弘前市芸術文化施設 (2017 -)など。ATA official website : http://at-ta.fr



Photo: Yoshiaki Tsutsui

15:40 - 16:40 [基調講演Ⅱ]

世界遺産と近代建築 | 稲葉信子 氏

世界遺産委員会では、新しい世界遺産の登録審査だけでなく、その後の保全状態についてもモニタリングを行い、遺産保護のあり方について議論を続けています。古い時代の遺跡や建築だけでなく、今ではカバーする領域も近代建築や農業景観に広がり、また地球の環境問題や持続可能な開発目標にどのように協力していくかも課題になっています。世界遺産審査の基本的な事項から最近の課題まで、皆さんの関心が高い近代建築についての考え方を軸にお話させていただきます。

稲葉信子 Nabuko INABA [筑波大学世界遺産専攻教授]

専門は日本建築史・文化遺産論。東京理科大学卒業・東京工業大学大学院修了。工学博士。文化庁・国際機関ICROM、独立行政法人東京文化財研究所を経て2008年から現職。日本が世界遺産条約を批准した1992年から条約の実務及び関係する国際事業に携わってきている。



PANEL DISCUSSION

16:50 - 18:15 [パネルディスカッション]

北原啓司 氏 / 古谷誠章 氏 / 橋本 功 氏 / 稲葉信子 氏 / 志村直愛 氏

歴史的建造物の保存・再生を進めてきている歴史都市「弘前」。しかし一方で、ハイカラな街としてもこれまで知られてきました。独学で会得した近代建築の数々を津軽に登場させ続けた棟梁堀江佐吉。そして近代建築の圧倒的存在感を放出する前川國男作品。どちらも、市民に驚きを与え、歴史の中で新しい風を吹かせた革新的な建築物だったはず。歴史の中に堆積しながら、確実に光を放ってきたのです。過去ではなく未来へのパースペクティブを大事にする弘前での議論は、きっと我々に大きなヒントを与えてくれるはずです。

[コーディネーター] 北原啓司 Keiji KITAHARA [弘前大学大学院地域社会研究科長・教授]

伊勢市生まれ。1985年東北大学大学院博士課程修了後、東北大学工学部建築学科助手。1994年から弘前市に移り、都市と建築とをつなぐ様々なフィールドワークに關する。都市計画や景観にかかわる自治体の委員長を務める一方で、建築設計コンペやプロポーザルの審査委員長あるいは事務局として公共施設建築にも関わる「青森県立美術館、十和田市現代美術館、八戸市新美術館、弘前市芸術文化施設ほか」。



古谷誠章 Nobuki FURUYA [建築家・早稲田大学教授]

1955年生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業。同大学院修士課程修了。早稲田大学助手、近畿大学工学部講師を経て、1994年に早稲田大学助教に就任。1997年より現職(教授)。1986年から文化庁建築家芸術家在外研究員としてスイスの建築家マリオ・ボッタの事務所に在籍。1994年に八木千子と共同してMASAを設立。第55代日本建築学会会長。「茅野市民館」で2007年日本建築学会賞作品賞、2014年「実践学園中学・高等学校 自由学習館」日本建築協会日本建築大賞受賞など。



橋本 功 Isao HASHIMOTO [(株) 前川建築設計事務所 所長]

1945年神奈川県生まれ。1970年日本大学理工学部建築学科卒業後(株)前川國男建築設計事務所入所。1994年(株)前川建築設計事務所取締役、2000年代表取締役に就任。現在に至る。担当した主な作品は、福岡市美術館(1979)埼玉県立自然史博物館(1981)国立音楽大学講堂(1983)など。この間、弘前市から熊本県までの、使われている全国の前川建築の保全改修や前川建築に関する様々な活動に積極的に関わり続けている。



志村直愛 Naoyoshi SHIMURA [東北芸術工科大学 デザイン工学部 建築・環境デザイン学科 教授]

建築史家、都市景観プランナー、散歩師。1962年鎌倉市生まれ。1988年東京藝術大学大学院美術研究科修了。1993年同大学博士後期課程単位取得退学。1988年MANU都市建築研究所研究員。2006年東北芸術工科大学デザイン工学部 建築・環境デザイン学科准教授。2012年同大教授。2016年同大学院デザイン工学専攻(2018)、歴史的建造物を活かしたづくり、住民参加などについて、様々な視点から研究と実践の両面から取り組む。故郷鎌倉、横須賀、現住地文京と東京西走中。



10/17 (THU) PROGRAM

12:30 - 15:30

[弘前市市民会館 大会議室 / 一般参加可能]

これからの建築とまちづくり

建築・都市分野の憲法ともいえる基本法の必要性を、その理念とまちづくりの実例の両面から議論する。

基調講演

「建築・まちづくりと社会システム」仙田 満 氏

パネルディスカッション

松本純一 氏(コーディネーター)

神田 順 氏 / 小島博仁 氏 / 中居浩二 氏 / 連 健夫 氏 / 高橋直子 氏

13:00 - 18:00

[弘前文化センター 大会議室 / 一般参加可能]

JIA 東北住宅大賞審査会

東北6県の住宅を対象にデザイン・性能・工法等において、東北の景観と環境に根ざした優れた住宅を審査する。

審査員長 飯田善彦 氏 | 審査員 渡邊研司 氏

14:00 - 18:00

[弘前文化センター 展示室 / 一般参加可能]

第13回建築家のあかりコンペ2019 二次審査 - 表彰式

公園や庭園の散歩道を心地よく癒し、ストレスケアのため訪れるひとたちのための「人に優しいあかり」を求め。

審査員長 長谷川逸子 氏

審査員

中村拓志 氏 / 大草徹也 氏 / 小坂竜 氏 / 武石正宣 氏 / 前芝辰二 氏

15:00 - 17:00

[弘前文化センター 1階会議室 / 一般参加可能]

教育と実務訓練と登録建築家の未来

試験制度の変化、建築家の定義、継続的教育、ベテランの知見継承... 登録建築家の未来について忌憚なく語り合う。

登壇者

上浪 寛 氏 / 相坂研介 氏 / 荒川晃嗣 氏 / 近藤 昇 氏 / 内野輝明 氏

15:45 - 18:30

[弘前市市民会館 大会議室 / 一般参加可能]

災害対策全国会議木造仮設住宅フォーラム

東日本震災以降に東北でつくられた仮設から、避難期生活の中の仮設住宅群の考え方について再考する。

登壇者 青井哲人 氏 / 佐々木孝男 氏 / 菅野日出喜 氏 / 阿部直人 氏 他

10/18 (FRI) PROGRAM

9:30 - 12:45

[弘前市市民会館 大ホール / 一般参加可能]

東北のまちづくり JIA 福島地域会・JIA 山形地域会)

JIA 福島地域会「原発災害の被災者と建築」

発表者 阿部直人 氏 / 辺見美津男 氏 / 清田崇志 氏

パネルディスカッション登壇者 高橋岳志 氏 / 邊見啓明 氏 / 中山武徳 氏

JIA 山形地域会「商店街エリアマネジメント」- 今なぜ、七日町商店街が目されるのか - | 登壇者 下田孝志 氏

9:30 - 12:30

[弘前市市民会館 大会議室 / 一般参加可能]

偉大な先輩建築家に学ぶⅥ

青森県および近県にゆかりのある建築家がどのように地域、文化を考え作品を作り上げたか、偉大な建築家に学ぶ。

登壇者 白井原太 氏 / 永井康雄 氏 / 本間弘 氏

仙田満 氏(趣意説明)笠覚暁 氏(司会)

9:30 - 12:30

[弘前市市民会館 中会議室 / 一般参加可能]

JCCA × JIA 協働シンポジウム「誰が景観を創るのか？」

JCCAの美しい国づくり専門委員会と、JIA 関東甲信越支部の都市・まちづくり委員会が協働開催するシンポジウムの第13回。北原啓司教授による基調講演「津軽ダム」の土木・建築設計者を迎え、土木・建築の協働事例から美しい景観を創るための今後の展望を議論する。

10:00 - 12:30

[弘前市市民会館 小会議室 / 一般参加可能]

建物を使い続けるため

都城市民会館の解体経緯、島根県、海外事例報告から、建物を使い続けるために何ができるのかを考える。

登壇者 鯉坂 徹 氏 / 山本大輔 氏 / 渡邊研司 氏 / 大橋智子 氏(モデレーター)

9:30 - 12:30

[アートホテル弘前シティ 3階会議室 / 一般参加可能]

海外建築家協会会長国際会議「SDGsについて」

JIA, AIA, ASA, KIA, KIRA, SIA, RIBAの建築家協会会長がSDGsについて、事例紹介を元にパネルディスカッションを行う。

9:30 - 12:30

[弘前文化センター 第3会議室 / 一般参加可能]

JIA 環境会議 公開会議 環境座談会「記憶を繋ぐ」

経済と社会システムに翻弄される現在、「記憶を繋ぐ」ことが建築家の職能に不可欠な要素であるという視点での座談会。

登壇者

小堀哲夫 氏 / 関谷昌人 氏 / 新居照和 氏 / 小玉裕一郎 氏 / 宮田多津夫 氏